

こまき景観フォトコンテスト
審査基準・審査方法（案）

1. テーマ

「とっておきの小牧が見える場所」

日々の暮らしの中で見つけた魅力的な小牧の景観を対象とします。

例：市内の様々な場所から見える、魅力的な小牧山の風景

歴史や文化が薫る街並みや人々の活気や賑わいが感じられる中心市街地ならではの景観

東部地域の魅力的な景観や地域に広がる優良な田園風景

意外と知られていない、とっておきの小牧の風景

2. コンテストの目的

令和7年3月に策定した「小牧市景観計画」に基づき、市民の景観まちづくりに対する関心の醸成や景観意識の高揚を図るとともに、募集した作品を「良好な景観が見える場所」として周知することで、観光誘客及び地域への愛着の醸成を目指します。

3. 審査項目

応募作品は、一次審査の後、各審査員が以下の5項目の視点で3枚を選定します。選んだ人数が多い写真から順に最優秀賞1枚、優秀賞3枚を決定します。

審査項目	評価の視点
テーマ適合性	テーマに沿っているか
景観の保存価値	後世に残すべき歴史的・文化的価値または景観の美しさがあるか
観光誘客・発信力	見た人が「小牧に行ってみたい」と思える魅力があるか
独自性・意外性	あまり知られていない小牧の魅力を再発見できる視点か
表現の工夫	景色の良さが伝わるよう、独自の視点や構図が工夫されているか

選んだ人数が同一となった場合には、審査員全員による決選投票等により、最終的な入賞作品を決定します。

4. 審査員

小牧市景観審議会委員

5. 審査の留意事項

- 審査員は公平・中立に評価します。
- 応募者情報（氏名・年齢・性別など）は、評価に影響しません。
- 小牧の景観としてPRすることがふさわしいかどうかを重視します。